

「この人 87」

青木輝子 79歳 神奈川県

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

青 木 七十歳から俳句を始めようと計画しておりました。七十歳を期に結社に所属し、五年程参加しました。しかし、私は人間と人生の喜怒哀楽をテーマにしておりますので、どうも花鳥諷詠は私の意ではなく、退会致しました。たまたま立ち寄った本屋で本阿弥書店の「俳壇」の滑稽俳句欄を知り、これだと思って入会させていただきました。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

青 木 人間と人生は滑稽と考えておまして、私の意に合うということです。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

青 木 川柳的要素とユーモアとアイロニーの入り交じったものと考えます。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

青 木 この歳になりますと毎日が平凡ですが、毎月の投句を考えるだけでも退屈致しません。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

青 木 コツというほどのことは意識しておりませんが、常に言葉と遊んでいることと、直感と思い付きでしょうか。

**【代表句】**

一句成す言葉のパズル秋燈下  
貸しボート危うい恋を乗せて揺れ  
大猛暑前頭葉はギブアップ  
もう一度わたしも咲きたい返り花  
目力で威嚇の妻にサングラス